

県立高等技術専門校の整備のあり方の検討に係る  
宮城県職業能力開発審議会（第6回目）議事概要  
※令和2年度第3回宮城県職業能力開発審議会として開催

日 時：令和2年11月25日（水）午後2時から午後3時30分まで

場 所：宮城県行政庁舎4階 庁議室

出席委員：田邊会長、齋藤委員、佐竹委員、小野委員、熊谷委員、後藤委員、井上委員、谷垣委員  
野口委員、渡辺委員、（委員11人中10人出席）内藤特別委員（特別委員1人中1人出席）

概 要：

7月30日の知事への答申を踏まえて作成した「宮城県立高等技術専門校再編整備基本計画」の中間案について、その概要を事務局から説明し内容を確認した。主な確認内容は以下のとおり。

- ・高等技術専門校の配置について、現行の5校を1校に再編し、場所は現仙台校に新設すること。
- ・訓練内容の充実について、現行の訓練科を整理すること、気仙沼でサテライト訓練を実施すること。
- ・学生支援の充実について、アパート等住居にかかる費用を支援すること。

高等技術専門校の配置について、現行の5校を1校に再編し、場所は現仙台校に新設することについて、委員から出された意見等は以下のとおり。

- ・校の配置については、特段問題ない。
- ・仙台にということは以前から話に出ていた。人口減少の部分では仕方ない。
- ・仙台ということについては、これまでの議論のとおりに進んでいると思っている。
- ・工事期間中も既存建物を使用して実習が行われることについて、訓練がきちんと受講できるように、設計を綿密にたてたほうが良い。
- ・仙台校に配置することについて異論はないが、現在の道路状況（出入口の状況）は、問題があるため改善が必要である。
- ・場所は以前提案した場所と若干違うが、県で勘案して決めたことを、尊重したいと思う。
- ・他の訓練施設と、距離が近くなったが、協力や連携できるところがあれば、積極的に連携をしてほしい。
- ・工事中だけでなく開校後も周辺の道路は不便だと感じる。
- ・既存の建物を一部使用することについては、老朽化が気になる。
- ・仙台校跡地に5校が集まることについては、面積が十分なのか気になる。
- ・工事期間中に途中から他の高技専に転校したり、他校の学生が途中で新設校に転校する等があると、不便をかけるのではないかと。
- ・工事期間中に訓練を止めないで実施する方策について、既存施設の活用や他校への一時移設等の説明を聞いて納得した。
- ・総合建設技術科について、多数の訓練を実施する計画に見えるが、来年度に各団体の意見を聞きながら、訓練内容の組み合わせやコース分け等をしっかり検証する必要がある。

訓練内容の充実について、現行の訓練科を整理すること、気仙沼でサテライト訓練を実施することについて、委員から出された意見等は以下のとおり。

- ・総合建設技術科について、プロフェッショナルよりはオールラウンダー（多能工）を育成しようとしており、時代として多能的な能力が求められていることを、改めて実感している。
- ・多様性を求めることについても、新しい技術分野の人材育成についても、良いと思う。
- ・自動車整備科も機械だけではなく電子制御システムの内容も含めていることについて、良い内容となっている。
- ・宮城県においては、大手中小を含めて多様な業種があるので、科の内容や特徴、就職口等をしっかりと学生に周知していただきたい。
- ・トータル的には異論はない。
- ・気仙沼地域等の通えない学生に対する支援は大変重要だと思う。
- ・訓練科の内容については、受け入れる会社にとってより良いものになるように、今後検討するものと思っている。
- ・建設業界における多能工は、若者が減少する中で、今後絶対に必要となってくるが、多能工として多能なことが出来る人は少ない。
- ・多能な技術を持ちながら、時宜に合った行動が出来る等の管理する能力も必要と実感している。
- ・多能工の育成について、一本芯になる技術があって、さらにそれに付加価値をつけていく多能工が理想だ。
- ・自動車整備科の定員については、20人から増やせないか。
- ・中卒者で18歳未満の学生の取扱について検討が必要ではないか。
- ・訓練科については、基本計画に「計画策定後も経済動向や産業就業構造の変化等に応じて適宜見直しを行い時代のニーズに即した職業訓練を実施する」とあるように、計画策定後も柔軟に対応願いたい。
- ・ジョブセレクト科については、就業意識が希薄な学生が以前より増えており賛成する。
- ・科の名前は内容がわかりやすい方が良い。どうやって若者にアピールするか、宣伝や広報に力を入れた方が良いと思う。
- ・ジョブセレクト科は非常に面白い取組だと思う。
- ・将来人口或いは少子化、予算やニーズを踏まえると一校集約もやむを得ないと思う。
- ・幼いと感じる今の若者の良い面を引き出す方策や、やる気を引き出す方策、そのための高技専のあるべき姿を、より詰めていくと良いと思う。

学生支援の充実について、アパート等住居にかかる費用を支援することについて、委員から出された意見等は以下のとおり。

- ・修了生に地元への就職を勧めるためには、地区ごとに就職相談員を配置するのがいいのではないか。
- ・就職後の再就職も含めて相談に乗れる体制も大事だと思う。

以上のとおり、肯定的な意見が多かった一方で、今後、訓練科の内容を詰めていくにあたり、参考としたり、検討すべき意見もあったが、再編整備基本計画案そのものについては修正なしで、異議なく了承された。